神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ

ボランティアニュース

212号　2021年6月号

発行　神奈川県立こども医療センター　オレンジクラブ事務局
編集責任者　ボランティアコーディネーター　加藤　悦與
〒232-8555　横浜市南区六ツ川2-138-4　Tel.045-711-2351（代表）
ホームページ　https://orangeclub.kcmcvolunteer.com
ブログ　https://blog.kcmcvolunteer.com

ボランティアの皆さんと共に

事務局長　八尋　有造

こんにちは。4月にこども医療センター事務局長に就任した八尋です。今年は　例年より少し遅い梅雨入りとなりました。総合待合ホールや渡り廊下には、七夕飾りがはじまっています。短冊には患者さんやご家族の願いが数多く綴られており、希望に満ちた特別な空間が創造されています。

6月7日には、今年度1回目のボランティア運営会議がWEBで開催されました。各グループの方々から、コロナ禍での活動の苦労や工夫、積極的な提案もありました。また、町田総長から5年表彰をさせていただきました。チャリティーバザーは今年度も中止となり残念です。以前のような活動ができるまでには今暫く時間がかかりそうです。

さて、当院含む5病院を運営する神奈川県立病院機構では、第3期中期計画（令和2年度～令和6年度）で経営の黒字化を目指しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で入院外来患者の減少が続く中で、コロナ後を見据えて病院機能を通常レベルまで回復し、求められる医療を提供していくことが課題となっています。

神奈川県立こども医療センターは、福祉施設を併設した小児総合病院として、高度・専門医療を提供しています。また、小児三次救急医療機関や総合周産期母子医療センターとしての役割も担っています。現在、新型コロナウイルスの感染防止対策などで、患者受入れにも制約がある状況ですが、他の医療機関では診療が困難な患者さんを一人でも多く受入れていくこと、そして質の高い医療サービスを提供していくことが求められています。

そのためには、ボランティアの皆さんの活動が不可欠です。
患者さんの生活・学習・こころを支え、家族を支える様々な活動は、当院の医療に対する満足度の向上に重要な役割を果たしていただいています。

今後も、皆さんの視点で、病院の運営面などで気付いたこと、改善した方が良いなと思ったことなどありましたら、遠慮なく提案していただきたいと思います。

まだまだ、対面での活動などには制限がありますが、皆さんと共に、患者や家族目線で医療サービスの質を高め、地域からも信頼される病院をめざしていきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。

ボランティア運営会議のご報告

オレンジクラブ代表　三木美雪

こども医療センター医療スタッフの方々と、オレンジクラブの各グループリーダーの方々が出席し、１時間議題を限定して運営会議をいたしました。コロナ禍でのオレンジクラブ活動を、加藤コーディネーターがパワーポイントを使用し、活動中の写真をふんだんに取り入れ、各グループの様子を説明してくださいました。ご出席の医療センターの方からは、昨年コロナ禍でも、オレンジクラブが沢山の活動を展開していた事実がある事に驚かれ、感謝の言葉をいただきました。

オレンジクラブでは、神奈川県に緊急事態宣言が発令された場合は、会員の皆様には活動の自粛をお願いしています。昨年度は、緊急事態宣言の解除されている期間に感染予防対策をして、各グループ出来る限り今までの活動を継続できるよう努力してきました。ただコロナ禍での病棟ボランティアは、制限があり、以前のようにおこさんと直接かかわる活動ができませんでした。今回町田総長から、現在病棟では、親御さんにも厳しい面会制限を設けており、ボランティアが病棟に入るのは感染予防の面からも現段階では難しい事、今後コロナ感染症が終息に向かい面会制限が解除されても慎重に、ボランティアの病棟活動を検討していく主旨のご説明がありました。

現在病棟の活動は、フラダンスのグループでは、「アロハー！」DVD の中に楽しいフラダンスの様子を収録して重心施設にお届けしています。クラウンさんは、クリーン病棟の窓越しからご挨拶、スマイリングホスピタルジャパンの方は、重心施設「ひだまり」で入所者のおこさんとオンラインで歌や人形使いのイベントを、またステッカーアートの皆さんは５西病棟のおこさんに「キミだけのオリジナルステッカーを作ろう！」企画、音の絵本は DVD で音楽を毎月お届けしています。病棟の中には直接入ることはできませんが、リモートでおこさんの笑顔と繋がる方法を模索しています。

リモートによる企画は、町田総長からもどんどん積極的に進めていただいて大丈夫とのお墨付きをいただきましたので、新しい企画に取り組んでまいりたいと思います。

先日の調整会議では、コロナ禍だからこそ、おこさんと私達も、人と人がつながる事を無意識のうちに欲しているのではないか、同じ時間を共有する事の大切さが話題になりました。また AYA 世代のおこさんの病棟での過ごし方がゲーム中心になりがちなので、何か良い企画はないかとのご提案もいただきました。新しい企画に挑戦しながら、おこさんと一緒に笑顔になれるよう知恵を絞って参りたいと思います。

今回の運営会議の中で、昨年できなかった５年表彰授与式も行いました。代表として作業グループの武澤さんに受賞していただきました。授与式に参加できなかった皆様にもお祝い申し上げます。

最後になりますが、感染予防対策について大沢看護師さんからの注意事項の確認もありました。**①手洗い　②マスクの着用　③ご自身の体調管理をしっかり行う(体調のすぐれない時は活動を行わない)** の３点です。ボランティアの皆様どうか、安全安心にボランティア活動が出来るように感染対策もしっかり行い活動を継続してまいりましょう。

オレンジクラブ園芸班のグループリーダーご挨拶
（戦後の横浜山手を懐かしむ）《前編》

園芸グループ新リーダー　石井康博

今年度から佐伯さんから引き継ぎ、園芸班のリーダー役を担当することになりました。
リーダーの役割は、「こども医療センター」及び「オレンジクラブ」のご指示、諸情報をグループの皆さんと共有することが最重要と受け止めています。今後ともよろしくお願いいたします。

機会をいただきましたので、私がボランティアに参加させていただくようになった経緯、生い立ちを含めた自己紹介、園芸班の活動の現状等について書かせていただきます。

2009 年 4 月 1 日から滞在施設「リラのいえ」のボランティア活動に参加(下記にきっかけを)、施設長から「こども医療センターのボランティア研修会」の受講を勧められ、それがきっかけでした。研修終了後即オレンジクラブに入会し、4 月 21 日から活動を開始し現在に至っています。

＜「リラのいえ」のボランティア開始＞
家族がタウン誌で「NPO 法人スマイルオブキッズ」主催のピアノコンサート記事を見て、聴衆者として参加。翌年のコンサートに私も一緒に参加。活動趣旨に賛同、仕事も顧問的立場になり時間が取れそう。きっかけとチャンスが到来した感じであった。

＜自己紹介・・生い立ちを含め＞

私は、横浜市中区の最中で有名な「喜月本店」の近くで生まれました。誕生後先の戦争の状況から、すぐ茨城に疎開をしました。そのまま横浜にいたら空襲で命がなかったのでは。父は招集され満州にいたこともあり、その間は借家ですが家業のベビー服の洋裁をしながら母が守っていたようです。疎開先では、借家が貰い火による被災のため、帰浜するまで小学校のご厚意で、小使部屋に住んでいました。近隣は地元の人のみ、都会から来た疎開家族の親は、苦労をしたことと思います。しかし、心をとめ温かく見守ってくれたご家族、学校の先生方も沢山いました。(断片的ですが記憶に残っています)

昭和 24 年に山手外人墓地に徒歩 15 分位の所に帰浜し、心配していた茨城弁もすぐ横浜言葉になったと聞いています。翌年、山手にある「元街小学校」に入学、中学は中華街側近の「港中学校」を卒業。クラスメートには中国系(大陸、台湾)朝鮮半島系(韓国、北朝鮮)もおり、インターナショナルの雰囲気でした。山手地区はミッションスクールを含め学校の多い地区でした。(サンモール、セントジョセフ、フェリス、双葉、共立、女子商業　等)

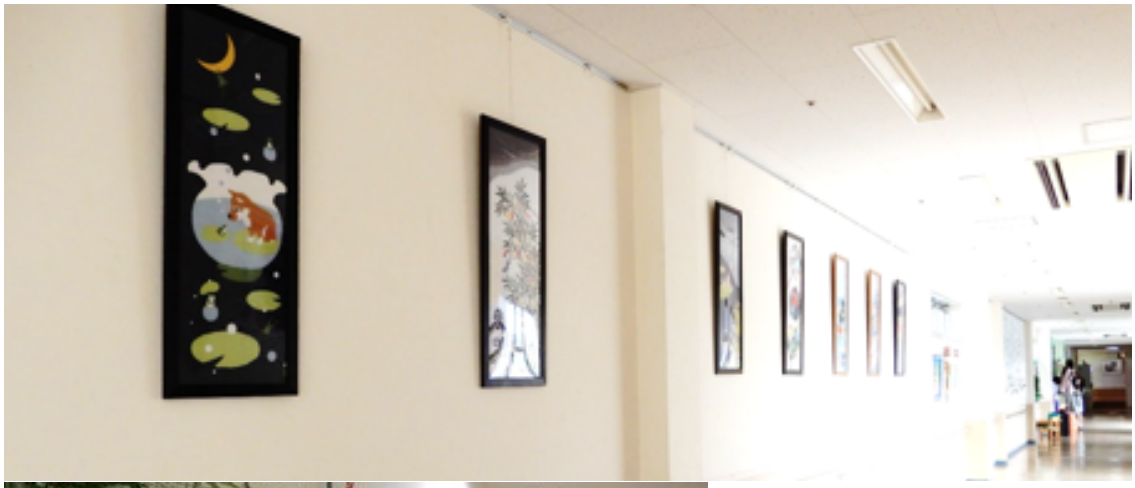
小学校時代は、爆撃されそのままの状態の西洋館も沢山あり、格好の遊び場所もありました。しかし山手通りは、ほとんどが米軍に占領されており治外法権の場所がありました。

近隣で事件が起きればMP(ミリタリーポリス)の外車が３m位の短波アンテナを”ビュンビュン“させサイレンを鳴らしながら飛んできますし、救急も米軍のゴツイ救急車。

ご先祖は、静岡県伊豆半島北西部の出身であり、幕末かいつ頃か分かりませんが横浜が開港してから、祖父兄弟は横浜に移って来たらしい？　祖父は山手の商館のコック、祖父の兄は鎌倉円覚寺塔頭の住職、私の曾祖母の母親は、禅宗の高僧の家系と聞いています。(写真は屋上にて。後編は７月号に続きます。)

ぽぽんたトピック㊷　　きくちゃん

センターの季節飾りは七夕飾りに変わりました。笹に沢山のお願い短冊が結び付けられ、その重みで竹が大きく傾いてしまうほどです。“みなさんのおねがいが叶いますように”
毎回の季節飾りに手ぬぐい額が飾られているのは皆さんもご存じでしょう。
この、手ぬぐいアートはセンター元職員の宮内さんのご寄附から始まりました。
冬はクリスマス・お正月・冬景色。**春**は桜・雛祭り。
初夏は雨に美しいアジサイの花・雨傘・五月人形・鯉のぼり・七夕。
盛夏は井戸端の野菜・西瓜・花火・金魚・ひまわりの花
秋は満月にすすき・イチョウ並木・
季節にかかわりなく、パンダ喫茶・パンダ風呂・トラやライオンの動物たち・どらえもん・もっともっとたくさんあります。最近は手ぬぐいサイズだけでなく、大判ハンカチ 50 センチ角サイズのアートも加わりました。ご覧頂いている、手ぬぐいやハンカチアートは、子ども達の絵画やシンスケさんのイラスト同様、皆さんの気分はリラックスされ、楽しい気持ちになるでしょう。
こんなに沢山頂いているのに、図々しいキクちゃんは「今度はこんなのが欲しい」と注文しています。



＊６月１６日（水）から月２回ぽぽんたグループの本の貸し出しが４西・４東・４南・５西・５南肢体施設「つばさの木」で再開します。
＊７月１７日夏飾りを行います。
＊５年表彰対象者の皆様には、追ってお知らせいたします。